



本製品は固体表面の抵抗を測定するための計測器です。用途以外には使用しないでください。

HOZAN

F-109

表面抵抗計

F-109-1

表面抵抗計(電極なし)


取扱説明書

このたびはホーザン F-109 表面抵抗計 / F-109-1 表面抵抗計(電極なし)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品は静電気対策品の抵抗値を測定するための計測器です。静電気対策の規格(RCJS、JIS、IEC、ANSI)に対応しております。

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店もしくは当社までお申し出ください。この取扱説明書には下記のマークをつけています。

 拡大損害が予想される事項

- この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

もくじ

各部の名称	2-3
安全上のご注意	4
本体の使用方法	5-9
・準備	5
・使用方法	6-7
・対策方法	8
・測定モードについて	9
定期点検	10
メンテナンス・保管方法	10
製品の廃棄について	11
故障かな?と思ったら	11
お問い合わせ窓口	11
基本仕様	12
交換部品・オプション	13
静電気対策の規格について	①-②
電極装置の規格への適合性について	③

各部の名称



各部の名称

梱包内容



本体



1冊

付属品



接続コード
(白色)



接続コード
(灰色)



アース線



キャリングケース
※F-109のみに付属



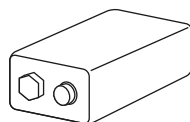
布尺
※F-109のみに付属



ワニグチクリップ2個



電極2個
※F-109のみに付属



アルカリ乾電池
(6LR61/6LF22)
電池は動作確認用につき、
寿命の保証はございません。







用意するもの

- プラスドライバー⊕No.1



安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。





この取扱説明書には下記のマークを付けています。





- | | | | |
|---|---|---|--|
|  拡大損害が予想される事項 |  禁止行為 |  必ず行う |  分解禁止 |
| |  めれ手禁止 |  水めれ禁止 | |

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

- | |
|---|
|  警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意 |
|  注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意 |

なお、△注意として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

 警告 重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意		
絵表示	重要事項	危害・損害
	測定時は電極に触れない。	感電のおそれがある。
	濡れた手で操作しない。	
	各コードジャックに本機付属の接続コード以外のものを接続しない。	故障・ケガのおそれがある。 ※ とくにイヤホンなどを接続して聴取することは、機器を損傷するばかりでなく、聴力を損なうおそれがあり、大変危険です。

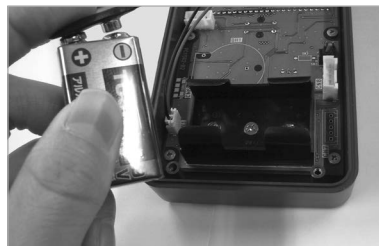
 注意 傷害や物的損害を想定してのご注意		
絵表示	重要事項	危害・損害
	分解、改造をしない。	火災・感電・ケガ・故障のおそれがある。
	本体と電極を接続しているときは、 ・ 本体を裏返しにして置かない。 ・ 不用意に測定スイッチを押さない。	感電のおそれがある。
	次のような条件下では測定しない。 ・ 電極が汚れている ・ コード・ワニグチクリップ・電極に人体が触れている ・ 電磁波などノイズが多い環境下 ・ 高温／多湿の場所 ・ 振動のある場所 ・ 落下など衝撃のおそれがある場所	ケガ・故障のおそれがある

本体の使用方法

準備

1. 電池を取り付ける

保護ケースを外し、プラスドライバー⊕No.1で裏面のネジ4本を外し、本体ケースを開けます。
アルカリ乾電池 (6LR61 / 6LF22) を正しく接続します。
測定スイッチを押し、表示パネルに数値が表示されることを確認してから、本体ケース、保護ケースを逆の手順で取り付けます。



注意

器物損傷や故障のおそれがある。



消費電力が大きいため、必ずアルカリ乾電池をご使用ください。



むやみに基板に触れないでください。



ネジを締めこみすぎると、ネジ山が破損することがあります。
締めすぎにはご注意ください。

2. 測定環境を確認する

温度の低いところから高いところへ持ち込むなどし、本体に結露が生じた場合、水分をふき取り、30分程度測定環境に留置してから測定を行ってください。
結露が生じないよう、事前に被測定物と本体を測定環境に留置して慣らすことをお勧めします。



注意

故障のおそれがある



湿度60%RHの環境を保ってください。



結露した状態で使用しないでください。

本体の使用方法

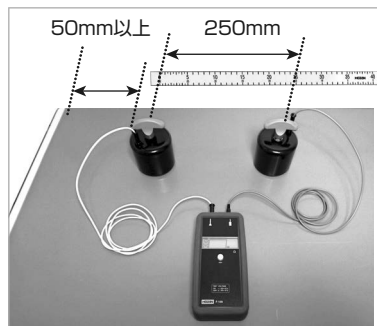
使用方法

表面(点間)抵抗の測定

1. 電極を接続する

測定用途に合わせて付属の電極、ワニグチクリップを使用してください。

接続コード(白色)で電極と本体のコードジャック(バナナプラグ用)を、接続コード(灰色)で電極と本体のコードジャック(モノラルプラグ用)を接続します。



2. 付属の布尺を使い、電極を規定された距離に配置する

(参考)

規格 RCJS-5-1

電極の距離 250mm

電極は試料端から50mm以上離れた位置に置くこと

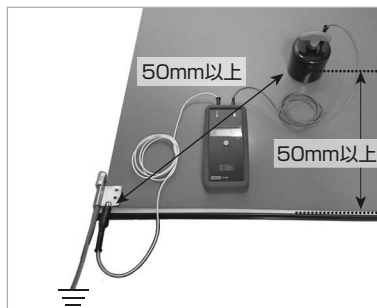
測定対象物ごとの測定方法(規格)については、①、②ページを参照ください。

グラウンド可能接続点間の抵抗(EPAグラウンド間抵抗)の測定

1. 電極を接続する

測定用途に合わせて付属の電極、ワニグチクリップを使用してください。

接続コード(白色)で電極と本体のコードジャック(バナナプラグ用)を、接続コード(灰色)で電極と本体のコードジャック(モノラルプラグ用)を接続します。



2. ワニグチクリップを接地点に接続し、布尺を使って電極を接地点から規定された距離に配置する

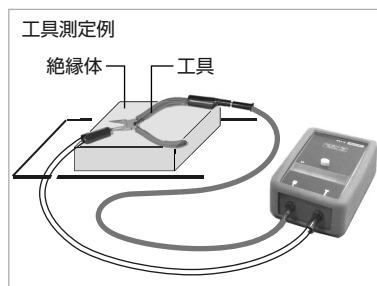
(参考)

規格 RCJS-5-1

接地点と電極の距離 50mm以上

電極は試料端または接地点から

50mm以上離して置くこと



本体の使用法

使用法

3. 測定を開始する

測定スイッチを長押し (0.5秒以上) すると電源がONになります。ディスプレイに抵抗値が表示されると測定開始となります。

対象物が $1 \times 10^6 \Omega$ 未満のときは印加電圧が10V、 $1 \times 10^6 \Omega$ 以上のときは印加電圧が100Vとなり、いずれかのマークが点灯します。35秒経過すると自動的に電源OFFします。

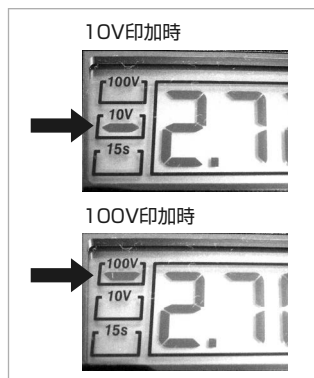
規格では15秒後の測定値を読み取ることが定められています。規格に合わせて15秒後の測定値をホールドすることも可能です (9ページ参照)。

抵抗値が測定範囲外の場合は、下のように表示されます。

$9.00 \times 10^2 \Omega$ 以下の場合、「 $9.00 \times 10^2 \Omega$ 」の表示が点滅します。
 $2.00 \times 10^{12} \Omega$ 以上の場合、「 $2.00 \times 10^{12} \Omega$ 」の表示が点滅します。

高抵抗測定 ($10^9 \sim 10^{10} \Omega$ 以上) は微弱な電流を測定するため、周囲のノイズ影響を受けやすく、測定結果にノイズ要素などの外的要因が含まれる場合があります。

校正など、精度の高い測定が必要な場合は、次ページの対策を行ってから測定してください。



警告

感電のおそれがある





測定中は電極やコード、アース線、測定物に触れないでください。とくに、測定ボタンを押したのちに触れると100Vが印加されていることがあり、大変危険です。



注意

正確な測定結果が得られないおそれがある



 (bat) と測定値が交互に点滅すると電池寿命です。 
表示が点滅する場合や測定値が表示されない場合は、電池を新品に交換してから、再度測定を行ってください。電池が消耗して定格電圧に満たないと正確な測定結果が得られません。



測定時はコード・電極・ワニグチクリップに触れないでください。機器が影響を受け、正確な測定が行えない場合があります。

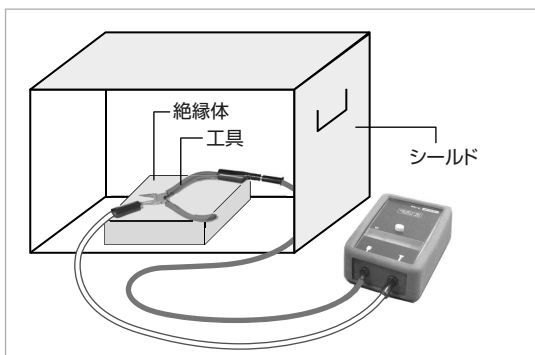


コードは軽くたるませて測定してください。コードを強く張るなどしてプラグに横方向の力が加わると、接触不良を起こします。

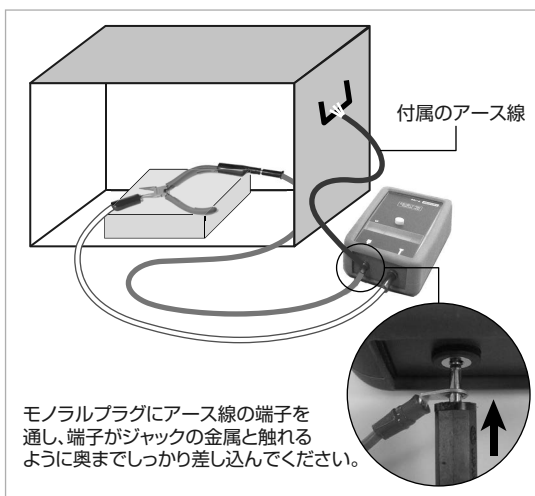
本体の使用方法

対策方法

ノイズ要素を除去するには、測定対象物を金属筐体で囲うなど、シールド対策をしてから測定を行ってください。



それでも数値が安定しない場合は、付属のアース線と測定対象物のシールド部を接続し、本体と測定対象物のシールド部を同電位にしてください。(3端子測定)



日常管理について

現場での日常管理など、ノイズを除去した環境での測定が難しい場合は、ご使用前にノイズのない環境で測定(事前評価)を行った後、実際に使用する現場でも、使用開始前の測定を行ってください。湿度、温度等の影響でも測定値は変わります。測定条件はできるだけ合わせてください。なお、湿度60%を超えると確度範囲内の測定結果が得られなくなります。

両者の測定結果が異なる場合、その差分がノイズ要素等の外的な要因と推測できます。

日常点検においては、その差分を考慮した上で管理することをお勧めいたします。

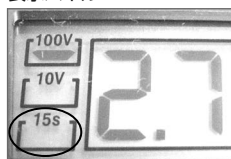
本体の使用方法

測定モードについて

常時測定モード

測定値を常時表示します。
測定開始から35秒で自動OFFします。

表示パネル

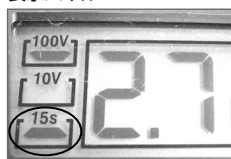


15Sマーク:表示しません。

ホールドモード

測定開始から15秒後の測定値を固定し、
5秒間表示後自動OFFします。

表示パネル



15Sマーク:電源ON時から15秒間表示します。

測定対象物が高抵抗 ($\times 10^{10} \sim 10^{11} \Omega$ 以上) の場合、測定値が安定するまでに時間を要します。
15秒以内に測定値が安定しないことがあるため、高抵抗測定時は常時測定モードでの使用をお勧めいたします。

ホールドモード使用の場合は、2回以上測定し、後の測定結果を採用してください。

測定対象物が印加電圧の切替ポイント付近 ($1.00 \times 10^6 \Omega$ 前後) の場合、印加電圧が100V/10V
を行き来し測定結果が安定しない場合があります。

この場合、どちらかの印加電圧に絞った測定結果を採用してください。

ホールドモードでは意図しない印加電圧の結果で固定されることがあるため、常時測定モードでの使用をおすすめします。

測定モードの切り替え方法

保護ケースを外し、裏面のネジ4本を外すと、
本体ケースが開きます。

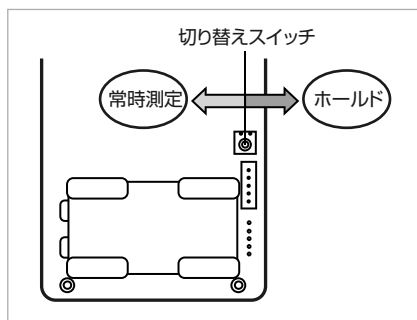
電池ボックスの右上にある切り替えスイッチ
で測定モードを切り替えることができます。

左: 常時測定モード

右: ホールドモード

切り替え後は本体ケース、保護ケースを逆の
手順で取り付けます。

※出荷時は常時測定モードになります。



定期点検 / 日常点検

安全にご使用いただくために下記の日常点検をお勧めします。

点検項目	点検内容	処置方法
外観	壊れたり変形したりしていませんか。	変形など破損している場合は使用せずに、当社まで点検・修理をご依頼ください。
コード	コード類が痛んだり、差し込みが緩んだりしていませんか。	断線など破損している場合は使用せずに、当社まで点検・修理をご依頼ください。
部品	ネジなどの部品は正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けることができない場合は当社まで点検・修理をご依頼ください。
発熱	異常に熱くなることはありませんか。	異常がある場合は使用せずに、当社まで点検・修理をご依頼ください。

メンテナンス・保管方法

本体の保守、お手入れ



注意 表面が溶けたり変質・変形したりするおそれがある。



シンナー、ベンジンなどのクリーナーは使用しない。

- 電極が汚れた際は、アルコール等で軽くふき取ってください。

保管方法



注意 ケガや器物損傷のおそれがある。



子どもの手の届かない安全なところに保管する。

- 長期間使用しない場合は電池を取り外して保管してください。
- 高温・湿気・ほこりを避けて保管してください。

精度確認について

一定期間ご使用後の校正は当社までご依頼ください。校正の周期については、当社での基準はございませんので、お客様において任意の校正周期を設定してください。

なお、当社の校正業務に使用する標準器は、一年に一度の定期校正を実施しております。

製品の廃棄について

廃棄するときは各自治体（または工場）の廃棄方法に従ってください。

故障かな?と思ったら

本製品は消耗品です。寿命は使用条件や、回数によって異なります。
取扱説明書およびWebサイト「よくあるご質問」を読んでも解決しない場合は、
下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
技術的なお問い合わせ、修理のご依頼などに対応しております。

よくあるご質問 (FAQ)

Webサイトでは、頻繁にお問い合わせがある質問を
製品カテゴリごとにまとめて紹介しています。
ぜひご活用ください。

<http://faq.hozan.co.jp/support/>



お問い合わせ窓口

ホーサン テクニカルホットライン

☎ 06-6567-3132

E-mail : th@hozan.co.jp

[月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00]

<https://www.hozan.co.jp/>



基本仕様

本体

測定範囲	9.00×10 ² Ω以上 2.00×10 ¹² Ω以下
確度保証範囲	1.00×10 ³ Ω以上 1.00×10 ¹² Ω以下
印加電圧	対象物が1.00×10 ⁶ Ω未満のとき…10V±5% 対象物が1.00×10 ⁶ Ω以上のとき…100V±5% 〔自動切り替わり〕
確度	±10%(1.00×10 ¹¹ Ω以上は±20%) ※1
電源	積層(6LR61/6LF22)電池×1 必ずアルカリ乾電池をご使用ください。
電池寿命	1000回以上(常時測定モード時)
使用環境	60%RH以下(結露なきこと)
外形寸法	85(W)×40(H)×170(D)mm(突起物含まず)
重量	300g(電池含まず)

電極

入数	2個
外形寸法	79mmφ×110mm 導電パッド 63.5mmφ
抵抗	2つの電極の点間抵抗 800Ω以下
重量	2.3kg(1個)

静電気対策品の試験方法に関する規格(RCJS-5-1)に沿った電極です。規格への適合性について詳しくは④ページをご覧ください。

※1 【参考】RCJS-5-1 要求事項 受け入れ試験で使用する装置 確度:±20%

■ オートパワーオフ機能付き。

測定スイッチを押すと約35秒(モードの切り替えで約20秒)で電源が自動OFFします。

本製品は 静電気に関する国際規格(IEC61340-5-1)を基にした国内規格(RCJS 5-1)に沿った測定器です。規格については①、②ページを参照ください。

交換部品・オプション

交換部品

品番	品名	仕様
F-101	電極(2.3kg)	入数:2個
F-101-TA	電極(2.3kg)(校正証明書付)	※ご購入者名入り証明書を作成しますので、ご注文時に会社名等が必要です。
F-109-2	接続コードセット	ワニグチクリップ2個付
F-109-3	キャリングケース	緩衝ウレタン付

オプション

品番	品名	仕様・用途
F-102	電極(履物用)	履物用・指用の2種入り
F-103	電極(衣類用)	
F-109-4	電極	簡易的に抵抗値測定が行える電極
F-104	絶縁シート	収納ケース付

パーツリスト

Webサイトに「パーツリスト」を掲載しております。



製造元 **ホーサン株式会社**

本社 〒556-0021

大阪市浪速区幸町1-2-12

TEL(06)6567-3111

FAX(06)6562-0024

<https://www.hozan.co.jp/>

静電気対策の規格について

静電気に関する規格には、国際規格 (IEC)、それを基にした国内規格 (JIS) / 国内団体規格 (RCJS) が存在します。

静電気対策品の性能評価試験方法はJISとRCJSに、静電気対策品の管理値はRCJSに、それぞれ規定されています。規格の内容を表1、2に示します。

本製品は規定内容に準じた方法で良否判定が可能です。規格を参考にご使用ください。

表1 試験方法

要求アイテム	端子間抵抗Re または点間抵抗Rp	EPAグラウンド抵抗、または グラウンド可能接続点への抵抗Rg
作業表面、保管棚、 トrolley及びカート	JIS C 2170の (8.6.4) ※1	JIS C 2170の (8.6.3)
床		JIS C 61340-4-1の (9.4)
椅子		JIS C 2170の (8.6.3)
衣類	RCJS-5-1のA.1	
手袋及び指サック		RCJS-5-1のA.3
リストバンド	RCJS-5-1のA.2	
リストバンドコード	RCJS-5-1のA.2	
履物		JIS C 61340-4-3
工具	RCJS-5-1のA.3 必要な場合	RCJS-5-1のA.3
イオナイザ		
包装	JIS C 2170の (8.6.1) ※2	

システム要求事項

リストストラップシステム		RCJS-5-1のA.2
着用手袋、指サックスシステム		RCJS-5-1のA.3
人体 / 履物 / システム抵抗		RCJS-5-1のA.3
人体 / 履物 / 床システム抵抗		JIS C 61340-4-5の (6.3)
工具システム		

注記(1) ESD管理用アイテム製品の認証では、試験の環境条件として、相対湿度を(12±3)%、
温度を23°C±2°Cとすることが望ましい。

『RCJS-5-1 静電気現象からの電子デバイスの保護 一般要求事項 (第3版):2016』一般財団法人日本
電子部品信頼性センター

※1 最新は『RCJS-5-1 附属書J(2015)』

※2 最新は『RCJS-5-1 附属書I(2015)』

当社は最新の国際規格(IEC)に基づいたものを基準としています。

表2 ESD管理用アイテムに対する要求事項

アイテム個別の 要求事項	端子間抵抗 Re または点間抵抗 Rp (Ω)	EPAグラウンド抵抗、または グラウンド可能接続点への抵抗 Rg (Ω)	電荷減衰 (4)
作業表面、保管棚、 トロリー及びカート	$1 \times 10^4 \leq R_p \leq 1 \times 10^{10}$ (5)	$7.5 \times 10^5 \leq R_g \leq 1 \times 10^9$ (5)	
床		$\leq R_g < 1 \times 10^9$ 最小値 (1)、(2)	
椅子		$R_g \leq 1 \times 10^{10}$	
衣類	$1 \times 10^5 \leq R_p < 1 \times 10^{11}$		
手袋、指サック		(6)	(6)
着用していない リストバンド	$R_p \leq 1 \times 10^5$		
リストストラップ グラウンドコード	$7.5 \times 10^5 \leq R_e \leq 5 \times 10^6$ (3)		
履物		$R_g < 1 \times 10^8$ 、 最小値(7)	
工具		$R_g < 1 \times 10^{12}$ (1)	
イオナイザ			1000Vから100Vまでの 減衰時間が最大20秒

システム要求事項

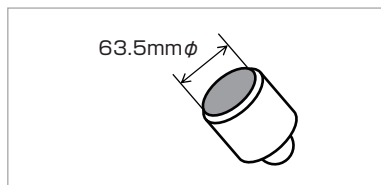
着用したリストストラップ (リストストラップシステム)		$7.5 \times 10^5 \leq R_g < 3.5 \times 10^7$	
着用した手袋と指サック		$7.5 \times 10^5 \leq R_g < 1 \times 10^{12}$	初期値(Max1000V)から 初期値の10%まで2秒未満
金属プレート上で 着用した靴		$1 \times 10^5 / (\text{片足}) \leq R_g < 1 \times 10^8$ (2)	
人体/履物/床システム		$R_g < 1 \times 10^9 \Omega$ (2)及び 人体電位<100V (5個の最高点の平均)	
工具システム			初期値 (Max 1000V) から 初期値の10%まで2秒未満

- (1) ESDSを保護するための最小抵抗値というものはない。しかし、安全性確保のために、最小抵抗値が必要な場合がある。関連の国内基準、IEC61010-1、IEC60479、IEC60536及びIEC60364を参照。
- (2) 人体接地の基本的な方法として履物/床システムを使用する場合の下限抵抗値は、人体安全性を考慮してESDコーディネータが決定する。(5.5項及びIEC 61340-4-5を参照)。
- (3) 最大のEPAグラウンド抵抗値は、250V(ac)、または500V(dc)当たり最小 $7.5 \times 10^5 \Omega$ の抵抗を確保するために増加することがある(通常 $1 \times 10^6 \Omega$)。
抵抗は、250V(ac)、または500V(dc)当たり1/4Wの最小電力定格をもつようにする。
- (4) 表面抵抗、点間抵抗、グラウンド可能点への抵抗が $1 \times 10^{10} \Omega$ を超える場合、または材料が均質でないもの、または絶縁性部位をもつ構造の場合は必須となる。
- (5) ESDコーディネータが承認した場合には、規定された下限抵抗値以下の抵抗は許容される。
- (6) システム要求事項の着用した手袋と指サックを参照。
- (7) 人体/履物システムの要求事項を参照。

電極装置の規格への適合性について

外形寸法について

外形寸法は79mmφ×110mmですが、被測定物と接する導電性パッドは63.5mmφで、規格に適合しております。



電極装置の抵抗について

RCJS-5-1では「二つのプローブ間の点間抵抗が $10^3\Omega$ より低くなるように十分な導電性をもたなければならない」と規定されています。当社は図のような回路の抵抗が800Ω以下となります。

重量について

重量2.3kg (1個) は、規格 $2.5\text{kg} \pm 0.25\text{kg}$ に適合しております。

